

米国 サクランボはカリフォルニア州からワシントン州へ完璧な移行

[FreshPlaza](#) 2025年6月9日

カリフォルニア州のサクランボの出荷シーズンが今週末に向かって収束する一方、ワシントン州のシーズンがゆっくりと始まっている。ハニーベア社のセールス担当社長であるチャック・シンクス氏は、「弊社では今週末に最初のサクランボを梱包し、6月15日または16日までにフル稼働になるはずだ。カリフォルニア州の終了時にワシントン州がスタートするので、タイミングは非常に良い。2つの地域の間の重複はほとんどなく、店頭で品切れすることもない」と述べた。(以下「」は同氏の話)

もし、引き続き大自然の恵みにあずかれば、ワシントン州では今シーズン、サクランボの豊作が予想される。「7月4日の祝日(独立記念日)とそれ以降、販促プロモーションができるだけの十分な量のサクランボがある。」量が多いだけでなく、同州では高い品質と良好なサイズ分布も期待されている。「1列10.5粒かそれより大粒のサクランボが十分すぎるほど出てくるだろう。ただし、1列11粒のサイズを求める取引先にも対応できる。」

需要と供給のバランス 同社は、国内市場と輸出市場の両方で需要が堅調であると確信している。「今シーズンは、需要と供給のバランスをとることが重要になる。価格設定については、サクランボが小売レベルで動きが止まらないように十分魅力的である必要があるのと同時に、生産者の収益を確保する必要がある。」

同社は今シーズン、ワシントン州のサクランボの取扱量が2倍になるため、非常に期待している。「量が増え、果実の品質が高いので、事業の成長が待ちきれない。」シーズンは7月末に減速するまで全速力で進む。「8月の第1週か第2週まで出荷が喰いこむことを望んでいるが、天候次第である。」

執筆者: マリーカ・ヘムス (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

ベトナム 2025年これまでの米国産果実の輸入が約60%急増

[FreshPlaza](#) 2025年6月9日

ベトナムでは、高品質の輸入果実に対する強い需要が続いており、米国は2025年の最初の5カ月間の主要な供給国であった。農業環境省の統計によると、ベトナムはこの期間に米国から2億300万ドル相当の果実と野菜を輸入し、前年同期比で実質的に60%増加した。[PetroTimes](#) は、米国は現在、ベトナムの輸入果実・野菜市場で26%の市場シェアを占めていると伝えている。

このブームは、ほとんどの農産物に対する輸入関税を0%に引き下げたベトナムの政令第73号を受けたものである。米国の果実輸出業者達は迅速に行動し、食品の品質と安全性の確保に対するベトナム国内の需要の高まりを活用するため一貫した供給を行った。

ベトナムのコショウの輸出は、量は減ったものの、堅調である。ベトナムは2025年上半期に9万8,600トンのコショウを出荷し、その輸出額は6億8,440万ドルであった。数量は前年同期比で13.6%減少したが、1トン当たり平均6,937ドルという史上最高の価格に支えられ、輸出額は39.2%増加した。

米国とベトナムの貿易の流れは引き続き活気にあふれており、生鮮果実は高い成長を示す品目の1つとなっている。米国の輸出業者とベトナムの流通業者はともに、高い需要、利益率の改善、2025年の両国間の農産物貿易の拡大見通しという最近の傾向を目の当たりにしている。

出典: PetroTimes